

# 水木しげるロード リニューアル基本構想



鳥取県境港市

# 目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 水木しげるロードリニューアル事業の目的と位置付け・・・・・・・・	2
1-1 事業の背景	
1-2 事業の目的	
1-3 事業の位置付け	
2. 水木しげるロードの現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2-1 水木しげるロードの『道』の現状	
2-2 水木しげるロードの『治道』の現状	
2-3 水木しげるロードの『道』と『治道』の課題	
3. 水木しげるロードリニューアル基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・	15
3-1 基本理念	
3-2 基本目標	
3-3 基本構想に基づく今後の取り組みの具体例	
4. 今後の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・	18

## はじめに

平成5年に妖怪ブロンズ像23体でスタートした「水木しげるロード」は、昨年で誕生20周年を迎えました。

この間、水木しげる記念館の開館など様々な取り組みが行われてまいりましたが、株式会社水木プロダクション様や地元関係者をはじめとする多くの方々のご尽力により、「水木しげるロード」は、全国にもその名が知られるほどの観光地に成長いたしました。

近年の入込客数は、ドラマ「ゲゲゲの女房」の放送された平成22年から昨年まで、4年連続で270万人を突破しており、本年の2月には、通算の入込客数が2,500万人を達成したところであります。

大変好調な状況が続く中ではありますが、このにぎわいを将来に渡って継続するためには、今、この時期に、次の10年、20年先を見すえた一手を打つ必要があると考え、この度、水木しげるロードリニューアル事業の実施を決断いたしましたところであります。

そして、本年2月には、地域住民や関係者、有識者など、27名で構成する「水木しげるロードリニューアル基本構想策定検討委員会」を設置し、基本構想についてのご議論を重ねていただいております。

本構想の策定には、策定委員の皆様をはじめ、多くの方にご尽力いただきました。皆様に深く感謝申し上げますとともに、水木しげるロードリニューアルの実現に向け、関係者の皆様の更なるご理解・ご協力をお願いいたしまして、ごあいさついたします。

境港市長 中村 勝治

# 1. 水木しげるロードリニューアル事業の目的と位置付け

## 1-1 事業の背景

「水木しげるロード」（以下「ロード」という。）は、JR境港駅前から「水木しげる記念館」（以下「記念館」という。）のある本町アーケード商店街までの約800メートルの道路と沿道の店舗などで構成されている。

平成4年に境港市緑と文化のまちづくり事業の一環として、衰退する中心市街地商店街の賑わいの回復と活性化を目的に、歩道の拡幅とあわせ、本市出身の水木しげる氏の代表作である漫画「ゲゲゲの鬼太郎」などに登場する妖怪のブロンズ像を歩道内に設置し、親しみのもてる道として整備が開始された。

当初は、主に市民に歩いていただき、商店街のにぎわいを取り戻すことが目的だったが、「妖怪」を用いたことが全国的にも珍しい取り組みということもあり、メディアに多く取り上げられ、年々、その知名度が高まり、観光地として成長を重ねてきた。

昨年も前年を上回る280万人が訪れるなど、近年、全国的な観光地として定着してきたが、当初、このように大勢の観光客が来訪するとの想定はなく、道路は周辺住民の生活を重視した車優先の対面通行で整備され、拡幅された歩道の幅員も区間を通じて同一ではなく、現状ではアーケードや舗装も劣化している。

本市では、「さかなと鬼太郎のまち」をキャッチフレーズに「境港市観光振興プラン」に沿った観光振興を推進する中で、ロードは、「さかな」と並ぶ本市の観光の核として、来訪者を市内の他の観光施設（水産物直売施設、夢みなと公園周辺など）に周遊させる役割も担っている。

また、近年、中海・宍道湖・大山圏域において、密接な連携を図り、一体的な観光振興を推進する中、ロードは、「国立公園大山」、「出雲大社」、「松江城」、「足立美術館」などと並ぶ圏域の重要な観光拠点となっている。



観光客で賑わうロード



ロードの拠点施設である記念館

そして、最近、ロードを取り巻く環境が大きく変化している。

- 平成25年 3月 松江自動車道（松江―三次間）開通
- 平成25年12月 山陰自動車道（名和―赤碕中山間）開通
- 平成25年12月 スカイマーク成田、神戸、茨城線が就航
- 平成25年度 クルーズ客船17回寄港（乗船客：約11,000人）
- 平成26年 4月 スカイマーク羽田、那覇、新千歳線が就航
- 平成26年 4月 境港水産物直売センターがリニューアルオープン
- 平成26年度 クルーズ客船が20回以上寄港予定
- 中国横断自動車道（松江―尾道間）全線開通予定
- 平成27年春 JR境港駅前にホテルが開業予定

その他、竹内南地区の国際フェリー（クルーズ客船含む）、国際RORO船ターミナル整備に向けた取り組みが行われている。

このように、ロードにおいては、当初想定されていなかった観光客の大幅な増加や、最近の環境変化によるさらなる交流人口や外国人来訪者の増加が想定される中、これらに対応した今後のロードのあり方を検討していく必要がある。



大型クルーズ客船の寄港



米子鬼太郎空港に就航した新規路線



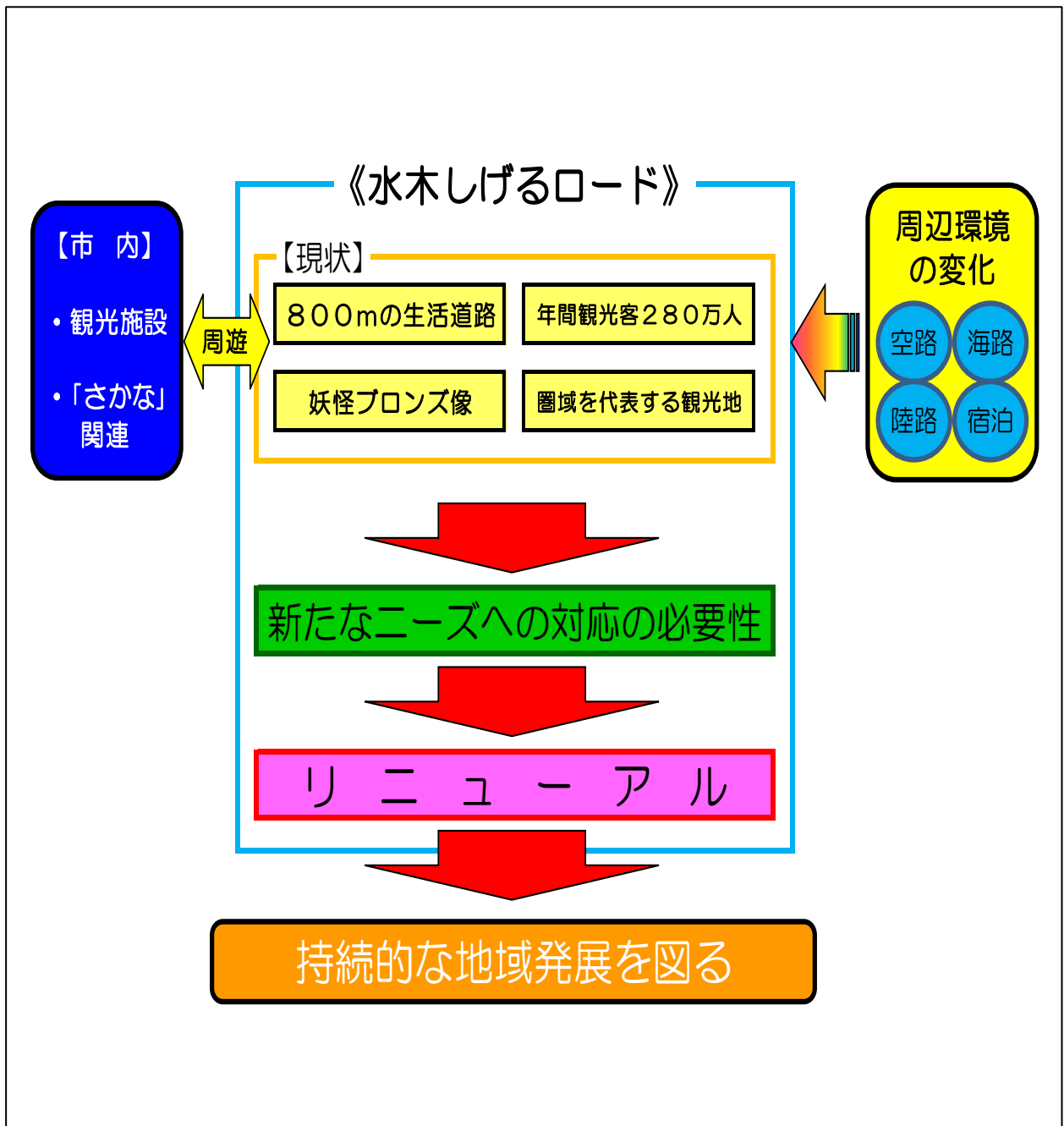
高速道路網の整備

## 1-2 事業の目的

ロードでは、前述のことから、大幅に増加した観光客や今後さらに増加が予想される外国人来訪者などへの対応が求められている。

「水木しげるロードリニューアル事業」（以下「本事業」という。）は、これらのニーズに対応することで、将来に渡りロードのにぎわいを継続させることで、ロードを核とした本市の持続的な地域発展を図ることを目的とする。

### 《事業のイメージ図》



### 1-3 事業の位置付け

本市のまちづくりの基本的考え方であり、上位構想である「境港市みんなでまちづくり総合プラン」の中で、本市が目指す将来都市像を「環日本海オアシス都市」と定めている。本事業の実施にあたっては、将来都市像である人やものが寄り集まり、砂漠の中の「オアシス」のような活気あふれるまち「環日本海オアシス都市」に沿ったロードの整備を行う。

また、本事業は、観光振興の基本計画である「境港市観光振興プラン」の重点施策として位置付けられている。

#### 『環日本海オアシス都市の趣旨』

港湾や空港などの社会基盤や資源を活かしたまちづくりに加え、市民の暮らしに根ざした基本的な施策を推進することにより、誰もが、快適で、心豊かに、そして「安全で、安心して暮らせるまち」、すなわち、文化的で質の高い暮らしができる独自の魅力を持ち合わせることで、人やものが寄り集まり、砂漠の中の「オアシス」のような活気あふれるまちをめざし、そのイメージとして「環日本海オアシス都市」を標榜している。

DBS クルーズフェリー

(ロシアー韓国ー境港)



米子ーソウル便



観光客で賑わうロード



水揚量日本一のクロマグロ



夢みなとタワー

## 2. 水木しげるロードの現状と課題

ロードは、古くから日本人の心の中に存在し、単なるキャラクターの枠を超えた「妖怪」をテーマとしたことにより、多くの人々をひきつけ、他の地域では真似の出来ないオンリーワンの観光地として発展を続けてきた。

また、インフラ整備、集客イベントの開催、情報発信やPR活動について、官民が一体となってロードの魅力づくりに取り組んできたことも発展の大きな要因である。

具体的には、歩道の拡幅、アーケード、駐車場、トイレなど利便施設の整備、ロードの目玉である153体の妖怪ブロンズ像の設置、記念館の建設、「河童の泉」の整備などに加え、妖怪キャラクター（着ぐるみ）による演出や、街灯やマンホールの蓋に至るまで「妖怪」を用いた修景演出に取り組んできた。

民間においても、多くの事業者による妖怪関連商品の開発・販売をはじめ、集客施設のオープンや、「境港妖怪ジャズフェスティバル」、「ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会」、「ゲゲゲのゲタつみ大会」など、「妖怪」を活用した様々なイベントの開催により、「妖怪」のもつ素材としての魅力や、ストーリー性・神秘性などを引き出す取り組みが展開されている。

加えて、テレビや映画などメディアによる宣伝効果もロードの集客に大きく影響している。中でも、平成22年に放送されたドラマ「ゲゲゲの女房」が幅広い年齢層の支持を受けたことで、ロードへの関心がさらに高まり、全国的な観光地としての知名度が飛躍的に向上した。

一方、事業の背景でも触れたとおり、多くの来訪者を迎える道としては、ミスマッチが生じており、さらに誕生から20年が経過し、道路やアーケードといった施設の老朽化や、段階的に増やしてきた妖怪ブロンズ像が、歩行スペースを狭めるなど、様々な問題が表面化してきている。

ここでは、ロードのリニューアルを考えるにあたり、ロードを「道」と「沿道」、さらにそれぞれを3つの地区に区分し、現状の確認を行い、その中から課題を抽出する。



## 2-1 水木しげるロードの『道』の現状

### (1) ロード全線の現状

#### 【道路の主な役割】

- もともとは、住民の生活道路として整備された道路
- 年間250万人以上が訪れる観光地としての道（もともと生活道路であるため、ミスマッチが生じている）
- 「みなと祭」や「カニ感謝祭」などイベント時に交通規制を行い、パレードで使用（イベント時には、多くの市民もロードを利用）

#### 【その他】

- 喫煙禁止区域を設定するなどの分煙対策が実施されていない
- 利便施設の案内など各種のサインが設置されているが、数が十分とは言えず、多言語化に対応していないものもある

### (2) 地区別の現状

#### ① 駅前地区（JR境港駅前～河童の泉交差点）

#### 【道路の管理者】

鳥取県

#### 【幅員】

車道：9.5m

歩道：北側 4.5m、南側 6.0m

歩道は他の地区と比べ広いが、車道も広く  
車優先の道路



河童の泉交差点

#### 【舗装】

車道：アスファルト舗装

歩道：インターロッキング舗装（舗装面に溝がある）

#### 【車道と歩道間】

高低差：あり（マウンドアップ型歩道）

区分：車止めのデザイン支柱とチェーン

#### 【車道】

通行：片側1車線の対面通行、河童の泉交差点に右折専用レーンあり

交通量：駅周辺は、バス、タクシー等の交通量が多いものの、通常時はスムーズに通行

歩行者天国：「みなと祭」時に実施

#### 【歩道の状況】

占用物：妖怪ブロンズ像、目玉おやし街灯、街路樹

歩行スペース：他の地区と比べ広い

休憩スペース：不足（ところどころにベンチがあるが不十分）

点字ブロック：あり

段差：車道と歩道の段差あり

## 【アーケード】

もともと設置されていない

## ②大正町～松ヶ枝町地区（河童の泉交差点～大正橋交差点～西本町）

### 【道路の管理者】

境港市

### 【幅員】

車道：7.0m

歩道：河童の泉交差点～大正橋交差点 北側4.0m

南側4.0m

大正橋交差点～西本町 北側3.0m

南側5.0m



松ヶ枝町の道路

全体的に歩道が狭く、車道が広い車優先の道路

### 【舗装】

車道：アスファルト舗装

歩道：インターロッキング舗装（舗装面に溝がある）

### 【車道と歩道間】

高低差：なし（フラット型歩道）

区分：縁石あり

### 【車道】

通行：片側1車線の対面通行

交通量：比較的交通量は少ないが、路肩に停車する車両が多く見受けられる

歩行者天国：「みなと祭」時に全線、ゴールデンウィーク等の繁忙期に大正橋交差点～西本町間で実施

### 【歩道の状況】

占用物：妖怪ブロンズ像、妖怪レリーフ、妖怪絵タイル、街路樹（大正橋交差点から西本町にかけては、南側のみ）

歩行スペース：狭い（大正橋交差点～西本町の北側、バス専用駐車場からロードへの動線となっている大正川沿い）

休憩スペース：不足（ところどころにベンチがあるが不十分）

点字ブロック：あり（占用物と接近しており、機能していない区間がある）

段差：車道と歩道の段差あり（段差解消は、部分的な対応に留まっている）

### 【アーケード】

河童の泉交差点～大正橋交差点：なし

大正橋交差点～西本町：あり（南北の歩道部分を覆うアーケード）

※塗装の剥がれが見られる

### ③本町アーケード地区

#### 【道路の管理者】

境港市

#### 【幅員】

車道：9.2m

歩道：なし（車道との色分け）

拡幅工事が行われず、歩車道の分離がない

#### 【舗装】

車道：アスファルト舗装

歩道：カラーアスファルト舗装

#### 【車道と歩道間】

高低差：なし

区分：カラー舗装により区分

#### 【車道】

通行：東から西への一方通行

交通量：少ない（慢性的に歩行者が車道を通行している）

歩行者天国：「みなと祭」等のイベント時、ゴールデンウィーク等の繁忙期に実施

#### 【歩道の状況】

占用物：妖怪ブロンズ像、ポスト

歩行スペース：狭い（慢性的に歩行者が車道を通行している）

休憩スペース：不足（ところどころにベンチがあるが不十分）

点字ブロック：なし

段差：全体的にフラット

#### 【アーケード】

全面型アーケード（老朽化が進んでおり、改修が必要な時期に差し掛かっている）



本町アーケードの道路

## 2-2 水木しげるロードの『沿道』の現状

### (1) ロード全体の現状

#### 【店舗・景観等】

- ロードの整備をきっかけに、多くの店舗が、地元客を対象とした営業形態から、妖怪関連の商品を販売するなど、観光客を対象とする営業形態へ転換
- ロード沿いの店舗数は、昨年10月の調査では、103店舗であり、近年、空き店舗や未利用地は、わずかとなっている
- 取扱商品が重なっているなど、個性に欠ける店舗もある
- 来訪者を店舗に招き入れる工夫などが不十分な店舗もある
- 数は少ないものの、地元客を対象とした店舗や民家もある（以前は、店舗だったが、廃業したものも含む。）
- 店舗は、昭和の雰囲気の良いものと、新しいものとが混在している
- 全体的に緑（樹木、緑地など）が少ない

#### 【ボランティア】

- 「境港観光ボランティアの会」が、個人や団体からの依頼に応じ、無償での観光案内を行っている
- 同会は、ロードでのイベントの際にも、交通整理等のスタッフとして参加するなど、ロードのおもてなしの一翼を担っている

#### 【観光客】

- 来訪者の滞在時間が短く、通過型の観光エリアとなっている
- 日本海側における有数の漁業基地を有し、海の幸が豊富にあるにもかかわらず、その食を味わうことができる飲食店が少ない
- 近年、航空機や環日本海定期貨客船、クルーズ客船などで訪れる外国人が増加傾向
- 多言語表記や通信環境、クレジットカード対応が一部に限定されており、外貨両替の対応は未整備

#### 【関係団体】

- 各商店街
- 各自治会
- 水木しげるロード振興会（ロード沿線で加入していない店舗もある）

#### 【夜間の状況】

- 妖怪ブロンズ像や「河童の泉」、記念館前庭等のライトアップを実施
- 水木しげるロード振興会が、夏季に夜のイベントを実施

#### 【市内周遊観光】

- 他の観光施設、境水道沿いの海岸通り、食を中心とした「さかな」との連携不足

## (2) 地区別の現状

### ①駅前地区（JR境港駅前～河童の泉交差点）

#### 【景観】

施設：JR境港駅、みなとさかい交流館、鬼太郎交番、駅前公園 ※平成27年春に駅前広場にホテルが開業予定

空き店舗：あり（駅前の旧飲食店）

妖怪演出：妖怪巨大壁画（みなとさかい交流館外壁）、妖怪トーテムポール、鬼太郎交番、鬼太郎駅（JR境港駅）、目玉おやし街灯

その他：JR境港駅前にロータリーが整備されている

#### 【周辺施設】

ポートインさかいみなと（宿泊施設）

#### 【利便施設】

多目的トイレ：みなとさかい交流館、駅前公園

授乳施設：みなとさかい交流館

#### 【休憩スペース】

- ・河童の泉（ベンチが少ない）
- ・境みなと・オアシス（みなとさかい交流館2階「まんが王国とっとり」PRコーナー）
- ・駅前公園（入口付近に駐輪場あり）

#### 【交通アクセス】

公共交通：JR境線、バス（市民バス及び米子・松江方面）タクシー、隠岐汽船

駐車場：市営駅前駐車場（127台）、民間駐車場

混雑時は、駅前広場及びロードから約400メートル西の弥生町の臨時駐車場を使用

#### 【商店街組織】

なし

### ②大正町～松ヶ枝町地区（河童の泉交差点～大正橋交差点～西本町）

#### 【景観】

施設：妖怪神社、妖怪お休み処「砂かけ屋」（写真スポット）、妖怪ブロンズ像が最も多い地区、

空き店舗：あり

妖怪演出：妖怪レリーフ、妖怪街灯

その他：大正川（大正町と松ヶ枝町の間を流れる川、桜が植樹されている）

#### 【周辺施設】

- ・妖怪倉庫（民営）



JR境港駅前



河童の泉



妖怪神社

- ・大港神社
- ・学習等供用施設しおさい会館（トイレの開放やイベントでの使用など、様々な用途に活用）

#### 【利便施設】

多目的トイレ：大正橋交差点、大型バス専用駐車場  
授乳施設：なし

#### 【休憩スペース】

- ・ポケットパーク（ベンチが少ない）

#### 【交通アクセス】

公共交通：市民バス（停留所2カ所）  
駐車場：市営大正町駐車場（58台）、民間駐車場、バス専用駐車場

#### 【商店街組織】

松ヶ枝町地区：松ヶ枝町商店街  
大正町地区：なし（自治会あり）  
西本町地区：なし（自治会あり）



ポケットパーク

### ③本町アーケード地区

#### 【景観】

施設：記念館  
空き店舗：なし（時期、時間によってシャッターが閉まっている店がある）  
妖怪演出：妖怪街灯、アーケード入口看板、アーケード内横断幕



本町アーケード

#### 【周辺施設】

- ・ゲゲゲの妖怪樂園（民営）※広い休憩スペースあり
- ・おさかなロード（ロード東～海岸通り～海とくらしの史料館）  
※地元市民団体の「元気みなと商店街」によって、さかなのオブジェが配置された通りの整備が進んでいる
- ・日ノ出広場（記念館と日ノ出駐車場の間）

#### 【利便施設】

多目的トイレ：記念館の前庭、館内、日ノ出広場  
授乳施設：記念館

#### 【休憩スペース】

- ・記念館の前庭（ベンチが少ない）

#### 【交通アクセス】

公共交通：なし（市民バスの「本町商店街」停留所がアーケード西側にある）  
駐車場：市営日ノ出駐車場（81台）、民間駐車場、混雑時はロードまで約800メートル南の市役所駐車場を使用



おさかなロード

#### 【商店街組織】

本町アーケード商店街

## 2-3 水木しげるロードの『道』と『沿道』の課題

これまでの現状から課題を抽出すると次のようになる。

### (1) 『道』の課題

#### 【全体】

- ・生活道路として整備されたため、ロード全域にわたって、車を優先した道路環境となっており、年間250万人以上の観光客を迎える道としてミスマッチが生じている
- ・ロード全域が分煙化されていない
- ・多目的トイレや授乳施設など利便施設の案内サインが少なく、一部を除いて多言語化に対応していない

#### 【車道】

- ・路上の駐停車が頻繁で、車の通行の妨げになっている
- ・生活道路として整備されたため、全線アスファルト舗装になっており、景観的に問題がある

#### 【歩道】

- ・歩道はインターロッキング舗装であり、一部段差もあるため、ベビーカーや車いすが通行しにくい
- ・歩道が狭いところでは混雑時に歩行者が車道にはみだし、車道と歩道が明確に区分されていないところでは歩行者が車道を歩くなど、交通安全上の問題がある
- ・点字ブロックが妖怪ブロンズ像と接近した配置となっており、機能を十分に果たせていない箇所がある
- ・狭い歩道内に妖怪ブロンズ像や電柱等があるため、歩行・休憩スペースが十分に確保されていない
- ・電柱や電線など道路占用物とその附属物が周りの景観を損ねている
- ・バス専用駐車場とロードを結ぶ歩道が非常に狭く、危険な箇所がある

#### 【アーケード】

- ・アーケードの老朽化が進んでいる
- ・アーケードのない地区がある

## (2) 『沿道』の課題

### 【店舗・景観等】

- ・空き店舗、未利用地がある
- ・民家と店舗、古い店舗と新しい店舗が混在しており、街並みが統一されていない
- ・おもてなしが不十分である
- ・ロード内に緑（樹木、緑地など）が少ない
- ・駅前地区にある施設のデザインのミスマッチ

### 【観光客対応】

- ・観光客の滞在時間が短い
- ・他の観光施設、「さかな」などの観光資源との連携が不十分である
- ・夜間演出及び魅力が不十分である
- ・多言語表記や通信環境、クレジットカード対応が不十分である
- ・外貨両替の対応は未整備である
- ・「さかな」を食べることのできる飲食店が少ない

### 【利便施設等】

- ・多目的トイレや授乳施設など利便施設が不足している
- ・休憩スペースが不十分である

### 【交通アクセス等】

- ・駅前にバス停が集中しており利用者に分かりにくい
- ・混雑時に臨時駐車場として使用していた駅前広場が、ホテル建設により使用できなくなるため、駐車台数が減少する

### 【関係団体等】

- ・地元からの情報発信力が弱い
- ・関係団体の組織基盤のさらなる強化が必要である
- ・関係団体間の連携が不十分である



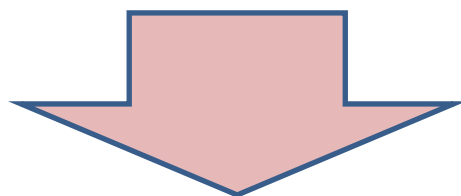
### 3. 水木しげるロードリニューアル基本構想

#### 3-1 基本理念

前述の現状と課題等を踏まえたうえで、以下の基本理念を掲げ、本事業を行う。

## 【 基 本 理 念 】

**誰もが訪れたいくなる  
おもてなしとエンターテインメントのロードづくり**



- 普通の道からクオリティ日本一の道へ
- 車が主役の道から人を大切にする道へ
- 住民の道から来訪者をも迎える道へ
- いつでも誰もが楽しめる沿道へ
- 「妖怪」の魅力を堪能できる世界で唯一のロードへ

## 3-2 基本目標

この基本理念を受けて、今後のロードの「道」、「沿道」の基本目標を次のように定める。

### 「道」の基本目標

#### ○すべての人にやさしい道づくり

- ・地元住民に配慮しながら、来訪者も大事にする道
- ・安心してゆとりをもって歩ける歩道
- ・ゆっくりくつろげ、自由に休める憩いの場の創出

#### ○誰もが楽しめる道づくり

- ・クオリティが高く、誰もが歩きたくなる道
- ・妖怪ブロンズ像との調和など、世界のどこにもない「妖怪」をテーマとした道
- ・多彩な演出、仕掛けを可能にする道路空間の活用

### 「沿道」の基本目標

#### ○住んでいる人が誇りを持てる景観

- ・「妖怪」をテーマに、道と沿道が調和した世界のどこにもない景観の形成

#### ○妖怪ワールドを堪能できる空間の提供

- ・「妖怪」による演出や体験イベントなど、世代を超えて誰もが楽しむことができる沿道の形成

#### ○活気あふれ、また来たくなる質の高い「おもてなし」

- ・来訪者の満足度を高める店舗づくりや情報提供、サービスの充実
- ・沿道の店舗や関係者による連携の強化に加え、市民ボランティアなども一体となった来訪者をもてなす体制づくり
- ・季節や時間帯などの変化にも対応した「おもてなし」

#### ○市内周遊観光の基点

- ・他の観光施設や「さかな」との連携の促進を図り、ロードを基点として市内を周遊させる仕組みづくり

### 3-3 基本構想に基づく今後の取り組みの具体例

本事業を行うにあたっては、基本理念を基に、その実現に向けて行政と民間が協働して、さまざまな取り組みを進めていく必要がある。

ここでは、「道」、「沿道」のそれぞれの基本目標を達成するために必要な今後の取り組みの具体例を掲げる。

#### 「道」に係る取り組みの具体例

- ・ 自由な道路空間の活用策の検討
- ・ 歩きタバコの禁止など、ロード内の分煙化の検討
- ・ 歩行者にとって分かりやすいサインや案内板の設置
- ・ 自動車の通行規制など、速度抑制を図る車道の線形の検討
- ・ アスファルト舗装の見直しによる車道の美装化
- ・ 段差の解消など、ベビーカーや車いすなどが快適に通行できる道路の整備
- ・ ゆとりある歩道の確保を基本とした道路の検討
- ・ すべての人に対するバリアフリー化
- ・ ゆっくりくつろげる休憩及び滞留スペースの確保
- ・ 歩道の機能を確保し、景観に配慮した妖怪ブロンズ像等の配置
- ・ 景観に配慮した電柱等道路占用物の見直し
- ・ 周辺駐車場からの安全な動線の確保
- ・ アーケードのあり方についての検討

#### 「沿道」に係る取り組みの具体例

- ・ 空き店舗や未利用地などの有効活用策の検討
- ・ ロードと調和した建物や広告物の色調、デザインなど、基本的なルールづくりの検討
- ・ 大正川の桜並木など、緑を生かした景観づくりの検討
- ・ 駅前地区の「街並みや機能のあり方」についての検討
- ・ 宿泊客が楽しめる夜のにぎわいの創出
- ・ 「妖怪」を使った演出のさらなる充実
- ・ 夜間、体験型など、さらなるイベントの充実
- ・ 多言語表記や外貨両替など、外国人に対するおもてなしの充実
- ・ 市内の観光施設、観光資源との連携強化
- ・ 多目的トイレや授乳施設など利便施設の増設の検討
- ・ 官民が連携した駐車場対策の強化
- ・ さまざまなメディアを活用した、地元からの情報発信の強化
- ・ 関係団体の組織基盤と連携の強化
- ・ ロードが一体となったおもてなしの質を向上し、誰もが食べてみたい、買ってみたいと思う店舗づくり
- ・ ボランティアやNPO、市民が活動しやすい仕組みづくり

## 4. 今後の進め方

平成26年度に策定予定の「（仮称）水木しげるロードリニューアル基本計画」の中では、本構想で提示した「道」に係る取り組みを中心に、より具体的な検討を進めていく。

また、その他の取り組みについては、想定される実施主体を中心に関係者による協力体制の構築を図り、早期の実現を目指していく。

### ☆今後のスケジュール

年 度	実 施 内 容
平成26年度	基本計画、基本設計
平成27年度	実施設計 ※一部工事着手を目標
平成28年度～	工事